



Press Release

公益財団法人 JR西日本あんしん社会財団
〒530-8341 大阪市北区芝田二丁目4-24
TEL 06-6375-3202 FAX 06-6375-3229

2021年1月15日

2020年度
小・中学生

「いのち」の 作文コンクール

受賞作品が決定しました！！

コロナ禍のなか、5,766 作品ものご応募をいただきました！

公益財団法人 JR西日本あんしん社会財団は、「いのち」についての作文を通じて、「いのち」の大切さを考えていただく機会を提供するため、近畿2府4県の小・中学生を対象に『「いのち」の作文コンクール』を開催しました。

コロナ禍での開催となりましたが、大変多くの応募をいただきました。

選考の結果、以下のとおり各賞の受賞作品が決定しましたので、お知らせいたします。なお、表彰式はWEBにて開催します。

☆ 金 賞 (4名)

(敬称略)

部 門	学 校 名	学 年	名 前	題 名
小学生1・2年生	大阪市立鳴野小学校	小1	丹羽 郁登	ぼくのたいせつないのち
小学生3・4年生	大阪市立堀川小学校	小4	荻部 孝政	ぼくのかぶと虫
小学生5・6年生	姫路市立津田小学校	小6	玉田 智愛	私の生きた足跡
中 学 生	奈良県立青翔中学校	中2	小林 大吾	命の重さ

☆ 銀 賞 (10名)

☆ 銅 賞 (16名)

☆ 優良賞 (78名)

- ◎ 金賞の受賞作品は、「別紙1」をご覧ください。
- ◎ 銀賞・銅賞・優良賞の受賞作品一覧は、「別紙2」をご覧ください。
- ◎ 金賞・銀賞・銅賞の受賞者を対象に、1月24日(日)にWEB(Zoom)にて表彰式を開催します。
- ◎ 金賞・銀賞・銅賞の作品の本文については、当財団ホームページにて掲載します。
- ◎ そ の 他：詳しくはJR西日本あんしん社会財団のホームページをご覧ください。
<https://www.jrw-relief-f.or.jp/seminar/sakubun2020/>



金賞受賞作品

「ぼくのたいせつないのち」

大阪市立嶋野小学校 一年 丹羽 郁登

ことしの冬、かぞくで、かきをたべました。口の中に、たねがのこりました。ぼくは、かきが大すきです。このたねを、うえたら、かきの実がたくさんできるかな。じぶんでそだてた、かきの実はきくと、とってもおいしいぞとおもい、ペランダのうえ木ばちに、たねをうえました。お母さんは「めなんて、でてこないわよ。」といいました。それでも、ぼくは、うえました。

春になって、お母さんがペランダからぼくをよびました。「めがでてる！」ぼくは、びっくりしてみにいきましました。かきのめがでていました。かきの実のかわをかぶったかわいめでした。ぼくは、すごいとおもいました。じぶんで、うえたたねがめをだして、うれしかったです。となりで、お母さんがいました。「いのちって、すごいね。かきの実はいっくんの体にはいつて、いっくんのいのちになつてくれた。かきのたねは、こうしてめをだして、また、実をつけて、だれかのいのちになるのかもしれないね。このめは、いっくんのそだてたいのちだよ。」ぼくは、早くかきの実を、たべたいとおもいました。かきの実が大きくなつて、たくさんの実をついたら、じいじやばあばにもあげたいとおもいました。おともだちやかぞくといっしょにたべたいです。ぼくのそだてた、たいせつないのちを、ぼくのたいせつな人たちに、わけてあげたいです。

「ぼくのかぞと虫」

大阪市立堀川小学校 四年 荻部 孝政

ぼくは三年生の夏、かぞと虫を育てました。おすだったので、カブキと名前をつけました。

毎朝、ぼくは目が覚めるとカブキを見に行くのですが、その日はカブキの様子がいともちがってしまいました。さわつてもびくりともしません。夜の間に死んでしまったのです。ぼくはせつなく大事に育てていたのに死んでしまつて、まるで大切な友達を失つたようなやるせない気持ちになりました。そんなぼくを見て、お父さんが、

「ひよう本にしたらどう？」

と聞いてくれたので、ひよう本を作ることにしました。ひよう本にしたらカブキとずつと一しよにいられる、ぼくはそう思いました。

ぼくは早速ひよう本作りを始めました。まずは固まったカブキの体をえきにつけ、そつと足をひろげました。ひよう本にしてカブキはよろこぶかなあ、とまよいながら手を動かしていました。カブキをそのままの形で残すためには、カブキを虫ピンでさして固定しなければなりません。でも、ぼくはかわいそうで出来ませんでした。またたましいは残っていると考えたからです。もし、たましいが残っていたらきつと、虫ピンでさされていたいと感じるだろうな。友達のように思っていたカブキにそんなことはできません。ぼくはカブキをひよう本にするのをやめました。

カブキは、よう虫のとき土の中にいたので、元いた場所に返してあげようと思いました。ぼくはカブキを家の近くの公園にうめに行きました。

「安らかにねむれますように。ぼくはカブキのことをわすれないからね。また会いに来るよ。」

と言つてうめました。

土の中にはカブキの仲間がいるかもしれません。仲間に出会えているといいなあと思います。

ぼくもときどき、その公園にカブキに会いに行つています。カブキは喜んでくれているといいなあ。

「私の生きた足跡」

姫路市立津田小学校 六年 玉田 智愛

私にとつての生きた証は、お腹にある大きなきずあとです。これは、私が病気とたたかたつた証でもあります。でも、プールや学校行事でおふろに入るとき、友達にこのきずを見せることには少し抵抗があります。それでも、私はこのきずがないと生きていかなかったからこのきずがとっても大好きです。

私は三才の時に「小児がん」と診断されました。病気になつて今年で八年が経ちました。それでも、まだまだ病気とたたかわないといけません。そのとき、まだ私は小さかったのであまり覚えていませんが、家族がそのときの話を、たくさんしてくれました。

病気が分かったとき、がん細胞が大きすぎてすぐに手術できず、抗がん剤治りようをすることにしました。その副作用はとてつと吐き気がしたりかみの毛もぬけ、全然ご飯が食べられなくなりました。

月日がたち、やつと手術ができるようになり、初めての手術は12時間程度かかったそうです。

そして、またあのつらい抗がん剤治りようが始まりました。ふつうの人では想像もできないくらいつらくて、しんどい治りようです。それでも私は絶対に病気に負けたくありませんでした。私の母は「あきらめたらそこで試合終了了。」とよく言います。だから「あかん、今ここであきらめたら元気になつてみんなと遊べない。」という思いがずつとあり、頭の中で自分が頑張れるように思つていたのを本当にかすかですが、うつつらと覚えていきます。家族も先生もたくさん応援してくれました。

私には病気になつたことよりも、つらい抗がん剤治りようを受けたことよりも一番いやだったことがあります。それは、年に一度しかない誕生日が二年続けて手術になったことです。正直、しないといけないと分かつていても一年

に一回しかない誕生日になぜ辛いことをしないといけないんだらうと思いました。ふつうならケーキを食べてみんなでお祝いする日なのに自分で私だけ……とも思いました。でも、今なら分かります。あのとき、こんな思いをして頑張ったからこそ、今生きられているというのを。少しずつみんなと同じように学校に行って遊ぶことができるということ。

小児がんという病気になって、つらいことやいやなこと、お腹に大きな傷も残ったけど、学ん

だこともたくさんあります。私は、小児がんになったけど、今は生きることが楽しくて、とつても幸せです。

「命の重さ」

奈良県立青翔中学校 二年 小林 大悟

始まりは店で買ってきた一個の卵だった。重さは五十g。何の変哲もない一個の卵、これをふ卵器に入れる。ふ卵器のふたはいつも曇っていて、中は見えにくい。けれどその中で僕たちと同じ一つの命が、じわじわとはぐくまれていく。

有精卵を割る時、そして混ぜるとき、命を食べているんだ、といつも思う。

約三週間後、ヒヨコが殻を破って産声をあげる。殻に穴を開け、小さな口をのぞかせヒヨヒヨと一生懸命息を始める。僕はいつもどきどきする。

二、三日すると羽も乾いて黄色や茶色のもこもこのかたまりになる。これがコケツと鳴きながら庭を駆け回る「鶏」になるのだからおもしろい。

その成長は驚くほど早い。一瞬目をはなしてから見返すと、一まわり大きくなっていく気がする。大騒ぎの中、餌の世話、糞の処理、水の世話をして十六週間でメスは「初卵」を産む。初卵は小さいが、ずっしりと重い。手のひらにのせると輝いてさえ見える。

オスは名前をつけない。朝早くに大声で鳴き始め、メス

にとびかかるようになる。僕たちは丸焼きから揚げかの算段を始める。昔ほどの家も鶏を飼っていて、人が来るときばいてふるまったものだ、と祖父が言う。

こうして残ったメスたちが毎日一個ずつ卵を産む。その数六羽、中雛たちが八羽。これから楽しみたいのしみ。

メスたちは卵を産まなくなっても飼い続ける「家族」なので、名前が必要だ。最初の二羽はボリスブラウンにしては薄い色の、ちょうどカフフェオレのような色合いだったので、「オレ」と呼ぶことになった。もう少し濃い方が「モカ」。今いる鶏の中の最年長になる。少しモカの話しよう。

モカはとても賢い鶏だった。オレは元気で食いしん坊。モカは何か怪しいもの、ヘビや猫が現れたら、必ず僕たちに知らせた。

放鳥しても、夕方オレンジ色が山の向こうに消えるころには、必ず自分で小屋にもどっていた。

でもモカはもういない。朝みたら六羽のうちモカだけがいなかった。

ある日の夕方、放鳥していた鶏たちを小屋に仕舞った。家人はみな買い物に出かけ、僕の仕事だった。

いつものようにみな小屋かその周りに集まっていた、仕舞うのは簡単だった。いつも一番最後まで外で遊びたがる若い「ソルベ」をつかまえて、扉を閉めて網をかけた。僕は、全員の数を数えなかった。この時からもうすでにモカはいなかったのかもしれない。それか、夜のうちに野生動物が忍びこんで、モカだけ連れ去ったのかも。網は破れていないし、羽も飛び散っていない。

とにかくモカだけいない。僕は泣いて、泣いて、泣いた。僕の責任だ。僕が確かめなかったからだ。

大事に卵から見守ってきた子が、夜の闇の中で悲鳴をあげていたかもしれない。何か悪いものが、モカを引き裂いたかもしれない。もっとよく確かめていれば……。

何か月たつても、モカのことにはあきらめきれない。朝も昼も夜も、窓の向こうの田んぼや森を眺めては、小さな姿が走って来はしないかと思っている。コトツと音がすれば

飛び起きて、確かめもした。

「モカなの？」

でも違った。モカは帰って来なかった。一度野良の鶏がいると聞いて見に行ったが、モカではなかった。だれか人間につかまって、そこでご飯と水をもらえていればいいのにも思った。または賢いモカのことだから、山の王のような強いキジかなにかの妻になって子孫を増やしているかもしれないと思った。

僕の手のひらに乗っていた小さな卵は、二kgの立派な命になり、家族として毎日抱っこして可愛がった。でも、お別れは唐突だ。

僕の心にも大きな埋まらない穴が開いた。命を扱うには覚悟が必要なのだろう。

☆金賞 (4名)

府 県	学 校 名	学 年	氏 名	題 名
大阪府	大阪市立嶋野小学校	小1	丹羽 郁登	ぼくのたいせつないのち
大阪府	大阪市立堀川小学校	小4	苅部 孝政	ぼくのかぶと虫
兵庫県	姫路市立津田小学校	小6	玉田 智愛	私の生きた足跡
奈良県	奈良県立青翔中学校	中2	小林 大悟	命の重さ

☆銀賞 (10名)

府 県	学 校 名	学 年	氏 名	題 名
兵庫県	私立甲南小学校	小2	村松 謙	「いのち」ってなんだろう
和歌山県	私立智辯学園和歌山小学校	小2	川久保 綾乃	わたしにとっての「いのち」
兵庫県	宝塚市立宝塚小学校	小5	武田 奈々	終わらない「いのち」
京都府	京都市立下鴨小学校	小6	田嶋 葵	自分のために生きる
兵庫県	私立小林聖心女子学院中学校	中2	大原 知紘	ヘアドネーションをしました！
奈良県	奈良市立富雄南中学校	中2	松谷 周香	自分ができる事
奈良県	河合町立河合第二中学校	中2	伊藤 由真	まみちゃんの夏
和歌山県	有田川町立八幡中学校	中2	今西 美里	後悔
滋賀県	私立近江兄弟社中学校	中3	岡崎 真心	命のストーリー
和歌山県	和歌山県立田辺中学校	中3	染道 琉花	私の自慢のお母さん

☆銅賞 (16名)

府 県	学 校 名	学 年	氏 名	題 名
和歌山県	私立智辯学園和歌山小学校	小2	千丸 泰芽	どんぐりのなえ
和歌山県	私立智辯学園和歌山小学校	小2	中本 琉楓	まんまる
兵庫県	西宮市立南甲子園小学校	小3	大恵 朱実	命があるきせき
兵庫県	私立甲南小学校	小4	井野上 碧泉	明子さんの命の音色から
和歌山県	私立智辯学園和歌山小学校	小4	成川 愛珠	おじいちゃんの命
大阪府	大阪府立大阪北視覚支援学校	小6	大坂 ひなた	生きのびるということ
大阪府	堺市立長尾中学校	中1	大石 美空	入院を通して考えた「いのち」
大阪府	私立箕面自由学園中学校	中1	櫻井 美羽	強くて脆い命
兵庫県	神戸市立鷹取中学校	中1	榊原 亜衣	忘れない。いつまでも・・・
京都府	京都市立久世中学校	中2	角村 桃奈	小さな命から考えたこと
京都府	京都市立修学院中学校	中2	酒枝 蒼空	リードの命
京都府	京都市立双ヶ丘中学校	中2	大橋 梨沙	生命の物語
兵庫県	私立関西学院中学部	中2	三木 煌太	タガメが教えてくれた命
兵庫県	私立小林聖心女子学院中学校	中2	鈴木 媛釉	その日は、突然やってきた
京都府	京都市立向島東中学校	中3	中西 創志郎	機械のいのち
大阪府	大阪教育大学附属池田中学校	中3	中村 咲陽	飛べない蟬

☆優良賞 (78名)

府 県	学 校 名	学 年	氏 名	題 名
滋賀県	草津市立老上西小学校	小6	籾内 梨琴	私と命
滋賀県	大津市立石山中学校	中1	村上 佳帆	弟の生まれた日
滋賀県	大津市立北大路中学校	中1	紺田 響	命の価値観
滋賀県	大津市立北大路中学校	中1	宮越 花南	私にとっての「いのち」
滋賀県	竜王町立竜王中学校	中1	猫田 紗瑛	命へありがとう
滋賀県	大津市立石山中学校	中2	中村 睦仁	受け継がれきた自分の命
滋賀県	彦根市立中央中学校	中2	松村 朋果	命の音
滋賀県	東近江市立聖徳中学校	中3	藤川 優月	いのちの光
滋賀県	竜王町立竜王中学校	中3	諸田 大晴	平和といのち
京都府	京都市立岩倉北小学校	小3	尹 智湖	命
京都府	京都市立太秦小学校	小3	長谷川 詩亜	「いのち」について
京都府	私立京都女子大学附属小学校	小3	小峯 れいあ	命をいただくこと
京都府	京都市立新町小学校	小4	ロー ナタリー	太陽よりも温かい「命」
京都府	京都市立仁和小学校	小5	石倉 里桜	命
京都府	精華町立精華台小学校	小6	藤田 愛美	妹が教えてくれた、かけがえのない命
京都府	京都府立南陽高等学校附属中学校	中1	大森 志穂	いのちはほうき星
京都府	京都市立久世中学校	中1	丹光 心遙	たった一つのいのち
京都府	京都市立双ヶ丘中学校	中2	森 奈那	ねえ、天国で幸せ？
京都府	京都市立双ヶ丘中学校	中3	宮本 紗有	青い鳥になりたい
大阪府	大阪市立榎並小学校	小1	久保毛 涼太	いのちのながさ
大阪府	私立関西創価小学校	小2	福田 幸恵	ミニトマトのいのち
大阪府	大阪市立苅田北小学校	小3	藤田 徠那	守るいのち、守られるいのち
大阪府	大阪市立平野小学校	小4	辻野 陽花	「命の大切さを知った食べ物」
大阪府	大阪市立矢田東小学校	小4	岩成 絢	命
大阪府	私立関西創価小学校	小5	池田 冠都	ホテルと命
大阪府	私立城星学園小学校	小5	申 莉寧	世界の飢餓をなくすには
大阪府	大阪市立玉川小学校	小6	村上 唯生	生きる意味
大阪府	私立大阪YMCAインターナショナルスクール	小6	呉 潤希	命のろうそく
大阪府	堺市立長尾中学校	中1	杉山 央音	忘れられない命
大阪府	堺市立浜寺南中学校	中1	笹倉 愛唯	天国と繋ぐ透明の糸
大阪府	私立箕面自由学園中学校	中1	細川 あい	虹の橋
大阪府	枚方市立枚方中学校	中2	三上 千鶴	頂きます
大阪府	八尾市立亀井中学校	中2	阪本 和音	今、ここにいるということ
大阪府	八尾市立亀井中学校	中2	高島 実蘭	手紙
大阪府	八尾市立亀井中学校	中2	辻井 凜	生きがい
大阪府	八尾市立亀井中学校	中2	松永 月彩	分からない未来
大阪府	八尾市立亀井中学校	中2	宮之原 冨	教えてくれたもの
大阪府	大阪府立箕面支援学校	中2	柳井 美緒	自分の人生は自分で切り開こう！！
大阪府	東大阪市立孔舎衛中学校	中2	寺内 ちほ菜	諦めるまでは終わっていない
大阪府	東大阪市立孔舎衛中学校	中2	宮田 里彩	目に見えないもの
大阪府	大阪教育大学附属池田中学校	中3	田中 莉穂	いのちの意味
大阪府	大阪市立平野北中学校	中3	川田 優花	生きる意味
大阪府	吹田市立第一中学校	中3	篠原 里奈	涙が出る日
大阪府	八尾市立亀井中学校	中3	宮本 美憂	生きている「いのち」

府 県	学 校 名	学 年	氏 名	題 名
兵庫県	神戸市立こうべ小学校	小3	榎本 阿紋	いのちについて
兵庫県	神戸市立湊小学校	小3	田原 和花	いのちの作文コンクール
兵庫県	加古川市立氷丘小学校	小3	豊田 美咲	一人一つかけがえのないいのち
兵庫県	神戸市立福池小学校	小4	佐野 絢音	ロボットと人
兵庫県	神戸市立福池小学校	小4	寶角 太一	ぼくの大好きなおばあちゃん
兵庫県	加古川市立氷丘小学校	小4	宮本 亘	「命」について
兵庫県	川西市立緑台中学校	中1	角南 美和	生きている意味
兵庫県	私立関西学院中学部	中1	藤本 怜汰	命の尊さ・大切さ
兵庫県	私立小林聖心女子学院中学校	中1	神谷 彩	窮屈で自由な世界
兵庫県	私立夙川中学校	中1	石田 伊知香	キョーダイ
兵庫県	私立夙川中学校	中1	伊東 滯央	セミの一生
兵庫県	私立夙川中学校	中1	大西 彩菜	私の大切な命
兵庫県	私立夙川中学校	中1	後藤 楓華	小さな幸せ
兵庫県	私立百合学院中学校	中1	井本 千暖	人のぬくもり
兵庫県	尼崎市立小園中学校	中2	多々美 陽菜	死があるから、生が輝く
兵庫県	川西市立緑台中学校	中2	岸本 玲音	一人の兄が世界を変える
兵庫県	小野市立小野南中学校	中2	高田 友愛	入院の経験
兵庫県	私立関西学院中学部	中2	馬場 玲娃	残りの時間
兵庫県	私立小林聖心女子学院中学校	中2	木浦 衣央	人の命は地球より重い
兵庫県	私立小林聖心女子学院中学校	中2	中脇 あかり	失ってから学ぶ命の尊さ
兵庫県	神戸市立港島学園中学部	中3	香西 万桜	“自殺”について
兵庫県	姫路市立大津中学校	中3	小林 泉水	私のいのちは私のもの？
兵庫県	姫路市立東光中学校	中3	森 美翠	命の生き方
奈良県	私立近畿大学附属小学校	小1	田邊 愛李	わたしのたからもの
奈良県	香芝市立香芝東中学校	中1	栗村 羽月	雪山の「いのち」たち
奈良県	私立帝塚山中学校	中1	河波 慶汰郎	「生」も「死」も「いのち」
奈良県	奈良県立青翔中学校	中3	吉井 ほのか	生きていく
奈良県	大和郡山市立郡山西中学校	中3	藤森 美花	「いのち」の源
奈良県	斑鳩町立斑鳩中学校	中3	米倉 京香	生きる意味
奈良県	明日香村立聖徳中学校	中3	関本 希実	天国のお兄ちゃん
和歌山県	私立智辯学園和歌山小学校	小2	宮本 旬	はせ川さんとどくへび
和歌山県	和歌山市立川永小学校	小5	小原 海音	いのち
和歌山県	和歌山県立田辺中学校	中3	村上 実咲	いのち
和歌山県	田辺市立衣笠中学校	中3	野崎 心々呂	たった一人の